

# 平成 20 年度 事業報告書

本財団の目的を達成するため、次に掲げる事業を行った。

## 1 理事会等開催状況

会議名	開催日	内容
平成 20 年度 第 1 回 通常理事会	平成 20 年 6 月 3 日 ホテルニューオータニ博多	・平成 19 年度事業報告及び収支決算書 ・評議員の選任
平成 20 年度 第 1 回 臨時評議員会	平成 20 年 6 月 18 日 書面による評議員会	・平成 19 年度事業報告及び収支決算書 ・理事、監事の選任
平成 20 年度 第 2 回 臨時評議員会	平成 20 年 10 月 8 日 書面による評議員会	・平成 20 年度収支予算の補正 ・理事の選任
平成 20 年度 第 1 回 臨時理事会	平成 20 年 10 月 30 日 書面による理事会	・平成 20 年度収支予算の補正 ・評議員の選任 ・副理事長の互選
平成 20 年度 第 2 回 通常理事会	平成 21 年 3 月 30 日 ホテルオークラ福岡	・平成 20 年度特別会計収支予算の補正 ・平成 21 年度事業計画 ・平成 21 年度収支予算 ・事務局組織の改正 ・諸規則の改正
平成 20 年度 第 1 回 通常評議員会	平成 21 年 3 月 30 日 ホテルオークラ福岡	・平成 20 年度特別会計収支予算の補正 ・平成 21 年度事業計画 ・平成 21 年度収支予算

※書面による理事会及び書面による評議員会の開催日は、決議書提出締切日。

## 2 事業の概要

### (1) 学術研究に関する広報活動事業

#### ①企業セミナーの開催

##### i 「九州大学学術研究都市セミナーIN 東京」

- ・テーマ：「～すべて魅せます、九州大学の魅力～『九州大学・総力セミナー Part1』」
- ・開催日時：平成21年2月18日 14:00～17:30
- ・開催場所：品川プリンスホテル
- ・参加者数：200名

##### ii 「第4回九州大学学術研究都市情報交流セミナー」

- ・テーマ：「九州大学学術研究都市情報」  
「九州大学の産学連携」
- ・開催日時：平成20年8月26日 15:00～17:30
- ・開催場所：西鉄グランドホテル
- ・参加者数：100名

##### iii 「その他出展活動」

- ・企業誘致フェア2008 (7/16～18、東京ビッグサイト)
- ・水素エネルギー先端技術展2008 (10/22～24、西日本総合展示場)
- ・アグリビジネス創出フェア2008 (10/29～30、東京国際フォーラム)
- ・FC EXPO 2009 (2/25～27、東京ビッグサイト)

#### ②東京会議の開催と国省庁への要望活動

##### i 「九州大学学術研究都市構想促進東京会議」委員を対象にした現地視察会を4年ぶりに開催し、学術研究都市の現状について理解を深めた。

- ・開催日時：平成20年11月20日
- ・参加人員：7名
- ・内容：研究所等の立地用地や九州大学伊都キャンパス内の施設を視察し、夕刻には、九州大学や自治体、地元経済界との懇談会を開催した。

##### ii 「九州大学学術研究都市構想促進東京会議 総会」を開催し、首都圏のオピニオンリーダーと九州大学学術研究都市に関する意見交換を行った。

- ・開催日時：平成21年1月14日
- ・開催場所：ザ・プリンスさくらタワー東京
- ・参加人員：23名（東京会議委員12名、地元代表者11名）
- ・内容：「九州大学の現状と将来構想」「九州大学学術研究都市推進機構の活動状況」について説明した後、質疑応答を行った。総会終了後、交流会を開催し、さらに議論を深めた。

##### iii 推進協議会による国省庁への要望活動

平成20年7月30日に、九州大学学術研究都市推進協議会と共同で、国の機関（文部科学省、国土交通省、経済産業省の16課）を訪問し、学術研究都市づくりに対する協力要請を行った。

③九州大学学術研究都市構想及び九州大学有力シーズの海外向けPR

在日企業や海外に向けた情報提供の一貫として、英文パンフレットを活用するとともに、当機構の業務案内パンフレットの英文版を新たに作成した。

④九州大学研究シーズの情報発信

研究シーズへのアプローチを容易にした企業ニーズ解決システムを構築し、九州大学ホームページへの掲載やセミナーでのデモンストレーションなどに活用した。

⑤地下鉄電照広告

企業・研究所誘致を促進するため、不特定多数の企業へのPRに適した地下鉄駅の電照広告を利用し、九州大学学術研究都市と推進機構のPRを行った。

・設置箇所：福岡空港、博多駅

⑥その他の広報活動

i ビッグオレンジの活用

九州大学伊都新キャンパスに設置されている、九州大学の総合情報施設（ビッグオレンジ）において、同キャンパス来訪者に、プラズマテレビや機構の紹介パネルを用いて、情報提供を行った。

ii ホームページの更新

当機構の業務に関する事業概要や最新情報の発信を行った。

iii 機構ニュース「OPACKめーる」の発行

当機構の業務や学術研究都市に関する情報提供のため、機構ニュース「OPACKめーる」を定期的（年4回）に発行した。

・発行時期：年4回（7月、10月、1月、4月）

・発行部数：各号2500部

(2) 産学官の共同研究による研究開発支援事業

①産学官プロジェクトに関する研究支援

水素エネルギーやナノテクノロジー、バイオテクノロジー等の重要なプロジェクトや有望な研究シーズについて支援を行い、研究活動や産学連携に積極的な教員の活動のサポートやネットワークの促進を行った。

i 「福岡水素エネルギー戦略会議」との連携

ii 「バイオアーキテクチャーセンター シンポジウム」の共同開催

iii 「地中熱プロジェクト」の研究支援

iv 「バイオマスプロジェクト」の研究支援

また、大学の設備と知識を活用したまちづくりを進めるため、分析機器・技術を核とする「分析クラスター形成研究会」を4回開催し、プロジェクトの展開について、検討した。

## ②福岡経済情報基盤協議会の研究活動支援

九州大学発のID管理システム(MIID)を中心とした共通プラットフォームモデルの構築を目指して19年度に発足した「福岡経済情報基盤協議会」の運営メンバーとして参画し、活動を支援した。

## (3) 研究機関等の立地支援事業

### ①企業誘致コーディネーター

企業集積エリアを拠点とした企業誘致推進体制を整備強化するため、当機構の東京ブランチとして設置し、コーディネーターのネットワークを活かした企業訪問活動を展開した。

### ②企業向け現地説明会の開催

企業・研究所の新設及び移転の候補地としていただくため、各立地用地の開発状況や産学連携施設、九州大学伊都キャンパスの先端研究施設及び周辺の魅力的な環境などの視察を目的とした現地説明会を実施した。

- ・開催日時：平成20年10月28～29日
- ・参加人数：14名

### ③ほたる、タウンオンキャンパスへの企業誘致活動等

現地説明会に参加した企業や福岡市産学連携交流センターに入居している企業、超高压電子顕微鏡フォーラムに入会している企業等のほか、今年度は自動車関連企業を重要企業と位置づけ、これらの企業の本社・研究所等を訪問し、九州大学と九州大学学術研究都市の情報を提供し、九州大学との産学連携を勧奨し、誘致活動等を行った。

※初年度（平成16年10月）からの累積では約500社（延べ数）

### ④研究サポート企業等の誘致

理化学機器や薬品関係企業など、九州大学の研究をサポートする企業の九州大学学術研究都市への誘致活動を行った。

#### i 九州科学機器協会総会（参加会員企業60社）でPR

- ・開催日時：平成20年5月16日

#### ii 現地説明会

- ・開催日時：平成21年3月19日
- ・参加人数：22名

### ⑤国公設研究機関の誘致

企業研究所誘致のほか、17～18年度に取り組んだ次世代スーパーコンピュータの誘致活動の経験を生かし、国公設研究機関（理化学研究所など）の誘致に向けた情報収集、要望活動などに取り組んだ。

## ⑥都市形成調査

九州大学学術研究都市構想の実現・企業立地の促進に求められる「知・住・悠の舞台となる快適空間の形成」に向けて、その具体化に必要な調査・検討を行った。

- i 九州大学学術研究都市における外国人の住・生活環境整備に関する調査
- ii タウンオンキャンパスまちづくり推進会議の開催（4回／年）
- iii 九州大学学術研究都市における景観形成

## （4）産学連携交流支援事業

### ①OPACK交流会の開催

当機構のセミナー室を活用して、九州大学の研究者による地場企業向けの交流会を開催するとともに、当機構の活動状況や九州大学学術研究都市の魅力を紹介した。

- i 第3回「地中熱プロジェクト実証試験」
  - ・開催日時：平成20年9月18日
  - ・参加人数：23名
- ii 第4回「エアコンの室内機・室外機を科学する」
  - ・開催日時：平成20年11月21日
  - ・参加人数：16名
- iii 第5回「最先端の塑性加工技術を見て見よう」
  - ・開催日時：平成20年12月18日
  - ・参加人数：11名
- iv 第6回「高性能化学計測法で環境・ナノ・バイオに挑む」
  - ・開催日時：平成21年1月13日
  - ・参加人数：5名

### ②九州大学学術研究都市未来化学フォーラム

九州大学学術研究都市への立地促進にあたり、九州大学未来化学創造センターや、工学研究院応用化学部門が自ら設立した「光と水の伊都未来都市構想」と共同で事業を行うなど緊密な連携を図った。

- i 産学連携交流センターを核とした活動・情報発信（九州大学学術研究都市のPR）
- ii 「光と水の伊都未来都市構想」との連携
- iii 財九州先端科学技術研究所（ISIT）との連携

### ③九州大学学術研究都市産学連携推進会議

福岡都市圏の産学連携機関を集め、企業情報収集や立地環境のアイデア創出、産学連携の推進などを図るため、20年度は現地説明会を開催した。

- ・開催日時：平成21年3月26日
- ・参加人数：15名
- ・特記事項：今後は定期的に会合を開き、意見交換を図ることで参加者と合意した。

#### ④ベンチャー企業等の支援・育成

中小企業・ベンチャー企業などに対する九州大学との産学連携の機会づくりや産学連携プロジェクトの支援のほか、学内の研究者に対する大学発ベンチャー創出のための支援を行った。

#### ⑤超高压電子顕微鏡フォーラムの運用

九州大学超高压電子顕微鏡室と連携して、九州大学保有の電子顕微鏡（9台）の民間企業への開放を行い、産学官交流・連携を促進した。（会員企業数：9社）

また、電子顕微鏡によるナノ構造評価の成否のカギを握る試料作製法の現状について、研究会を開催した。

「超高压電子顕微鏡フォーラム研究・技術懇談会」

- ・開催日時：平成21年3月13日 13:00～17:00
- ・開催場所：ホテルレガロ福岡
- ・参加人数：40名

#### ⑥他組織との連携

##### i 九州大学知的財産本部（リエゾン部門他）

リエゾン部門の定例会議に参加し、情報の収集・提供を行いながら、企画（地中熱プロジェクト他で連携）など、その他の部門へも連携を重ねた。

##### ii 九州シンクロトロン光研究センター

シンクロトロン光分析機器を、当機構がフォーラムを主催している学内の「超高压電子顕微鏡」と並ぶ、学外の重要な分析機器と位置づけ、17年度から情報交換を行っている。

##### iii 三井物産

17年度から、九州支店及び戦略研究所と情報交換を行っている。戦略研究所は、大学との産学連携のモデルケースとして九州大学を位置づけ、特に、他大学にない九州大学の特色である「芸工院」への関心の高さから、20年度は、芸工院のラボ視察及び意見交換会を開催した。

##### iv 福岡ビジネス協議会（FBK）

当協議会は、日立製作所と日産自動車を中心となり、福岡県内の企業（約250社）が集まる情報交換の場である。17年度から入会し、毎月の月例会等で、地場企業と積極的に情報交換を行っている。

##### v 福岡5：01サロン

当サロンは、福岡七社会の企業を中心とする情報交換の場である。

企業訪問で懇意になった三井物産九州支社の紹介で、18年2月例会から出席し、情報交換を行っている。